

2015(H27).12.03

ラグビー部初代監督の大和田幡市郎先生が亡くなりました

昭和21年秋に日立一高ラグビー部を創設し、昭和41年度まで20年間、日立一高ラグビー部の監督を務められた大和田幡市郎先生がお亡くなりになりました。(右下の写真の一番左が若き日の大和田先生です。・・・日立一高ラグビー部創部50周年記念誌より)

謹んでお悔やみ申し上げますとともに、故人のご冥福を心からお祈り申し上げます。

なお、ご葬儀は、下記のとおり行われます。

訃 報

日立一高ラグビー部 初代監督	
1 氏名	大和田 幡市郎 様 (96歳)
2 死亡日	平成27年12月2日 (水)
3 葬儀日程	日時 12月6日 (日) 午後6時から
通夜	場所 あいばるホール高萩会館
告別式	日時 12月7日 (月) 午後1時から
	場所 あいばるホール高萩会館
4 施主	大和田 潤 様 (続柄) 二男
5 お問合せ先	日立一高ラグビー部OB会 幹事長 木下俊雄 TEL: 090-7846-8078
6 葬儀会場	あいばるホール高萩会館 〒318-0033 茨城県高萩市本町2丁目222 電話: 0293-23-2000 FAX: 0293-24-0388
<p>■常磐道ご利用の方 高萩インターを出て信号右折。2.9km 直進し、スーパーモールを右折。 スポーツ公園を過ぎて1つ目の交差点を右折し、すぐの信号を左折。300m 直進した左手</p> <p>■いわき方面より6号国道ご利用の方 6号国道高萩警察署を過ぎて2つ目の信号を右折し、陸橋をわたり2つ目の信号を左折。 300m 直進した左手</p> <p>■日立方面より6号国道ご利用の方 高萩消防署を過ぎてすぐの信号を左折、陸橋をわたり2つ目の信号を左折。 300m 直進した左手</p> <p>■JR 常磐線をご利用の方 高萩駅下車。 駅から500m 直進した左手 徒歩で来られる方：所要約2分。 タクシーご利用の場合：所要約3分。</p>	

創 設 期 昭和21年度から昭和23年度

茨城ラグビーの草分けは、昭和5年の頃、日本鉱業日立の河合会長が、同好の士を募ってチームを結成したことに始まり、時期は多少前後して、昭和7年頃、日立製作所内でも秋田工業出身者によってラグビーボールを蹴り初められ、同好者が増加しはじめ、チーム編成となった。

高校ラグビーに於いては、それから遅れること14年後の、終戦後昭和21年秋のことである。日立一高ラグビー部の創設者であり、初代部長の大和田幡市郎先生が、復員後日立一高は奉職するや否や、予科練帰りの佐藤氏をコーチに、裸で、素足で、石ころだらけのグラウンドで、ボールを蹴り初めたのが、日立一高ラグビー部の初めであり、茨城県高校ラグビーの草分けでもある。終戦後の物質不足の折、地下足袋で雑草の繁ったグラウンドで、楯円のボールを手にしたのである。その直後、水戸農高が、うぶ声をあげ、約半年遅れて櫻村旭光氏(日立中学第8回卒業)の努力により、太田一高にも、ラグビー部が作られた。

県内での正式な試合は、昭和22年の秋であり、それまでは前述の三校による練習試合のみである。

第2回国民体育大会県予選 昭和22年9月24日

(勝)日立中 (キケン) 太田中

全国大会北関東決勝戦 昭和22年12月 於高崎中牧庭

日立中 0-20 高崎中

ラグビーを始めてから1年足らずの試合にもかかわらずルールの理解も不十分であったが、選手にとっては一生の思い出に残る試合であったことであろう。



県大会 (旧水高グラウンド)